

このサークルが、良いクラスの秘訣です。

では、どうやって本音で誠実に



褒める

のでしょうか？

褒め方には、様々な方法があります。

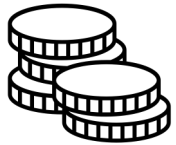


- ・ 普通の褒め方
- ・ 特定の褒め方

お金で例えると、

普通の褒め方は、1000円くらい

特定の褒め方は、2000円や3000円くらい



価値があります。

普通の褒め方編

上手！
完璧です！

特定の褒め方編

いいプレッシャーですね！
エビが上手です！

普通の褒め方は、生徒は自分に褒められているか、練習パートナーが褒められているのかが分かりにくい。

特定の褒め方を使うと、自分のことが褒められていると気づきやすくさらに何が良かったのかが分かります。

→ 何よりも生徒は 「ちゃんと見てもらえている」
と感じます

生徒を見るときは、



60%の方を見て、**特定の褒め方**を使います。

例えば、

～さん、フックが上手です！

——いいプレッシャー／コントロールです。

ベースが完璧です！

2人でいい練習できてますね！

生徒の**自信**は、銀行の口座と同じです。

¥

毎回褒めるときは、**預金**ができます。

褒め方によって、**預金額**が変わります。

—— 普通の褒め方は、1000円
特定の褒め方は2000～3000円



毎回修正する時は、**預金を引き出す**ことになります。

インストラクターの仕事は、生徒を褒めることです。

褒めると、口座にお金を預けて、



修正するとお金を引き出します。



毎クラスで、生徒一人ひとりを褒めると、

毎回、口座にお金が残ります。
(=生徒の自信が貯まる)



インストラクターは、生徒全員を見て、
みんなの口座に貯金します。



すると、修正をしようとする、
残高が十分でお金を引き出すことができます。

もし、インストラクターは生徒を褒めていないと、

いざ修正する時に、生徒の口座は空っぽです。



口座のないインストラクターは、生徒の信用がない

——
ということになります。

自信のあるインストラクターは、
自信のある生徒を育てることができます。

自信のないインストラクターは、



生徒の自信を壊していきます。



修正の仕方

【サンドイッチ】ストラテジー

この方法は、こどもに靴紐の結び方を教えるときに役立ちます。

そしてアメリカカーナアームロックを教えるときも同じです。

修正の仕方

もしサンドイッチストラテジーを使わない場合、生徒は「自分が悪い、自分ができないんだ」という思いを感じます。

この思いが強いと、インストラクターの修正に集中できず、効果的に修正ができません。



■ 結果、インストラクターが近づいてくる度、生徒は、「また間違っているのかな...」と感じ、インストラクターに嫌悪感を感じます。

修正の仕方

- サンドイッチストラテジーを使うと、

褒める → 修正する → 褒める

インストラクターが修正する時は、先に褒められているので、
集中しやすくなります。

「あ、褒められた。もっとうまくできるかな、よく聞こう」



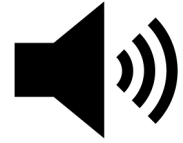
修正の仕方

➡ 修正の後、インストラクターは、よく褒めると、生徒は修正されたことに嫌悪感を抱かず、受け入れられます。

次インストラクターが近づいたら、「また来て、褒めてもらえる！」という思いが生まれます。

本音では、みんな褒められることが好きです



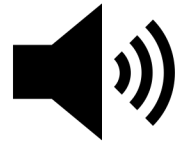


ナレーションプレイズ

生徒がテクニックをする時、インストラクターの言葉は役割は、
80%がこのナレーションプレイズです。

(Narration =語る Praise=褒める)

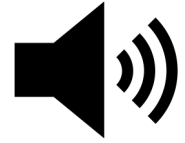
ヘナーが行うナレーションプレイズの動画を見てみましょう。



ナレーションプレイズをする利点

ナレーションフレーズの3つ良いこと

- 1) 生徒は、インストラクターがきちんと見ていることを知ることができます。
- 2) 生徒は、正しいテクニックができていると感じます。
(インストラクターがステップ by ステップでガイドしてても効果は◎)
- 3) 絶え間ない声があることで、全体的なエネルギーを高め、モチベーションを与えます。



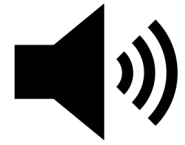
ナレーションプレイズ

ナレーションフレーズは、以下の3つからなります。

Time タイム・・・未来

Tone トーン・・・過去

Tense テンス・・・現在



ナレーションプレイズ

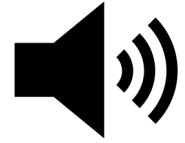
クラスにいる生徒全員は、ナレーションフレーズに値します。

生徒の経験によって、【Time】、が変化します。

経験が浅い生徒のナレーションは、**生徒の実際の動きよりもわずか**

に早くなるようにタイミングを合わせます。彼らが次のステップ

を忘れた場合に備えて、声の道しるべをします。

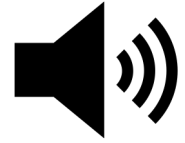


ナレーションプレイズ

経験のある生徒のナレーションは、【Tone】(過去)

生徒の実際の動きよりも、わずかに後に

ナレーションをします。トーンは明るく、褒めます



ナレーションプレイズ

全ての生徒に対して、【Tense】(現在)

ナレーションは、～しながら(現在進行形)で行います。

～して！とは受けての感じ方が変わります。